

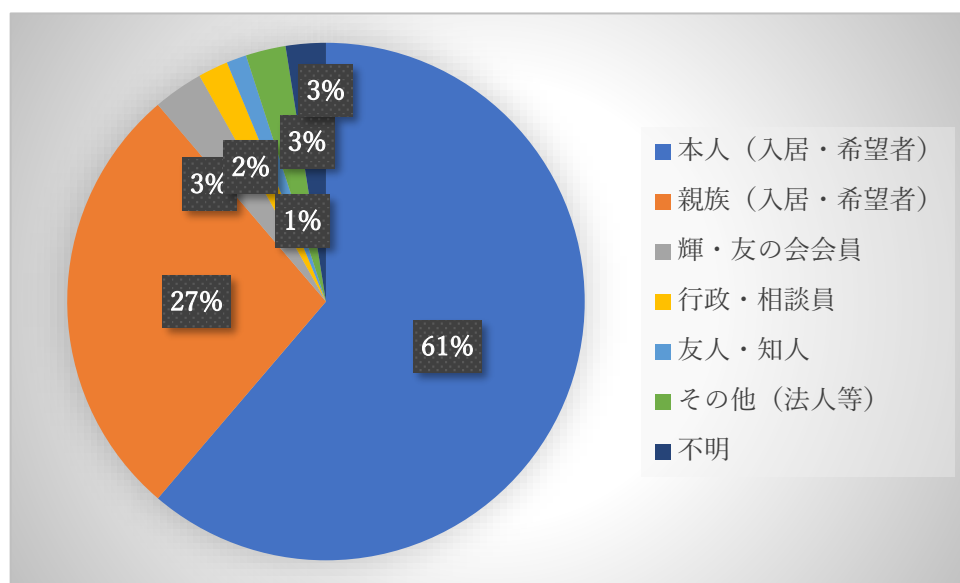
有老協 入居相談報告書(2022.4-2022.6)

本協会では、有料老人ホーム等への入居検討者から相談を受け付けています。以下の内容は、2022年度第1四半期に対応した160件の内容を集計したものです。会員ホームの運営にご活用ください。

1. 相談者について

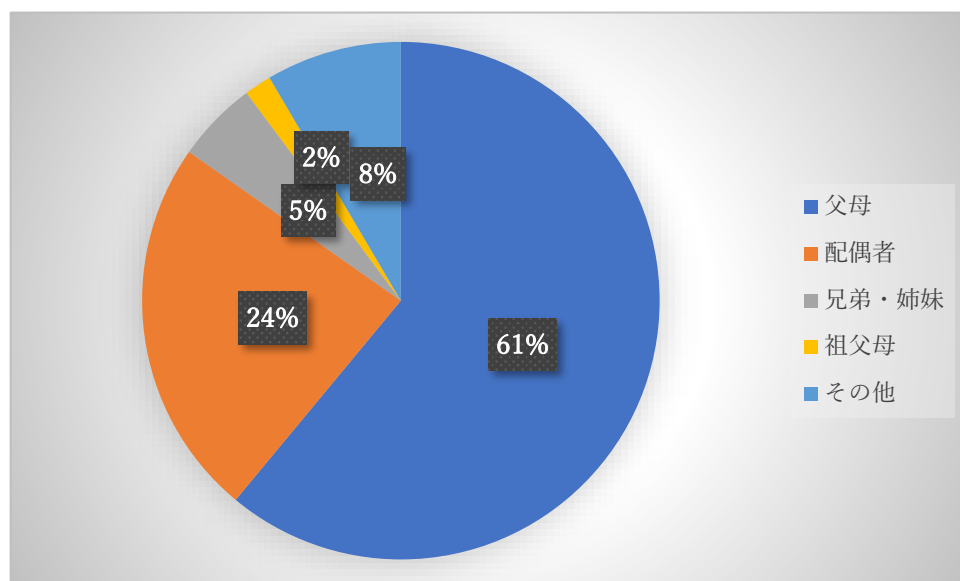
①種別

相談者は、本人からの相談が 61%、親族からの相談が27%、ご自身で有料老人ホームを探している方からの相談が半数以上を占めている。



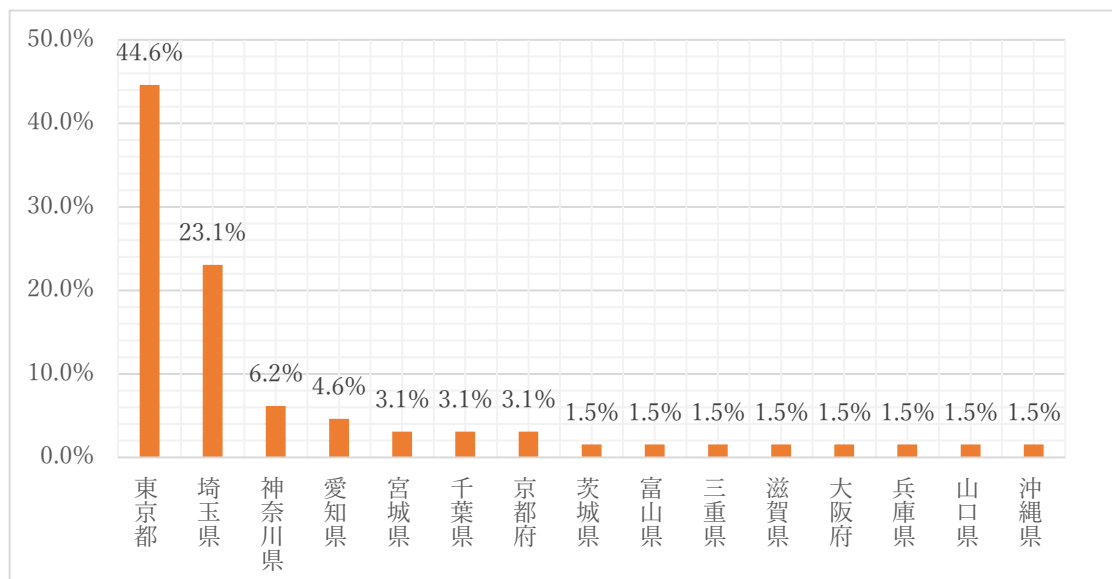
②本人以外の相談者と本人との続柄

本人以外としては、子供からの相談が 61%、ついで配偶者24%となっている。本人以外が有料老人ホームを探す場合、半数以上が子供からの相談である。



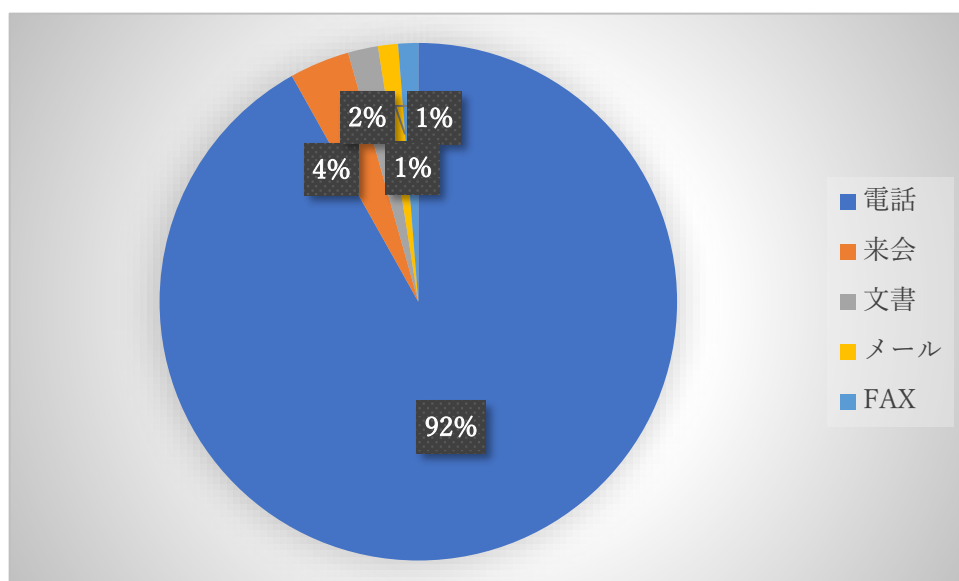
③相談者の居住地(不明者除く)

相談者の居住地については、東京都・埼玉県・神奈川県で約70%を占めている。



④相談方法

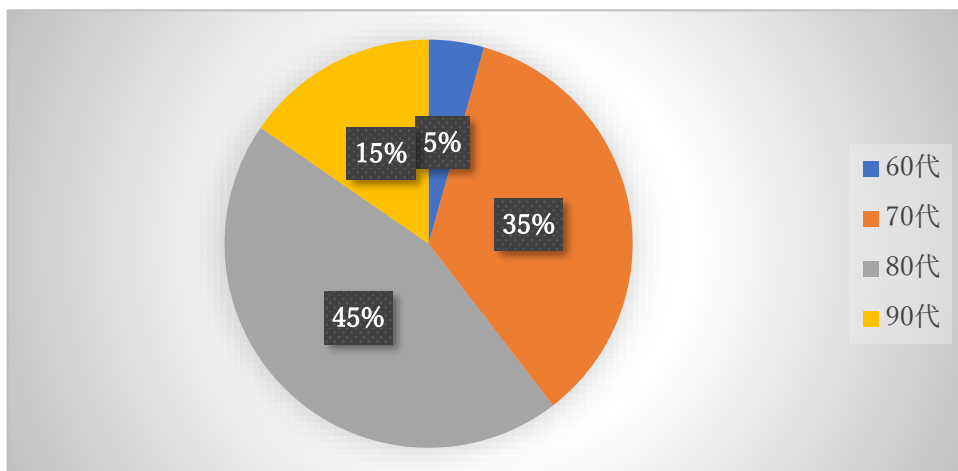
電話による相談が 92%、来会による相談が 4%となっている。新型コロナウイルスの影響もあり、電話による相談が 90%を占めている。メールによる相談も受け付けているが、電話による相談者が多い。



2. 入居検討者について

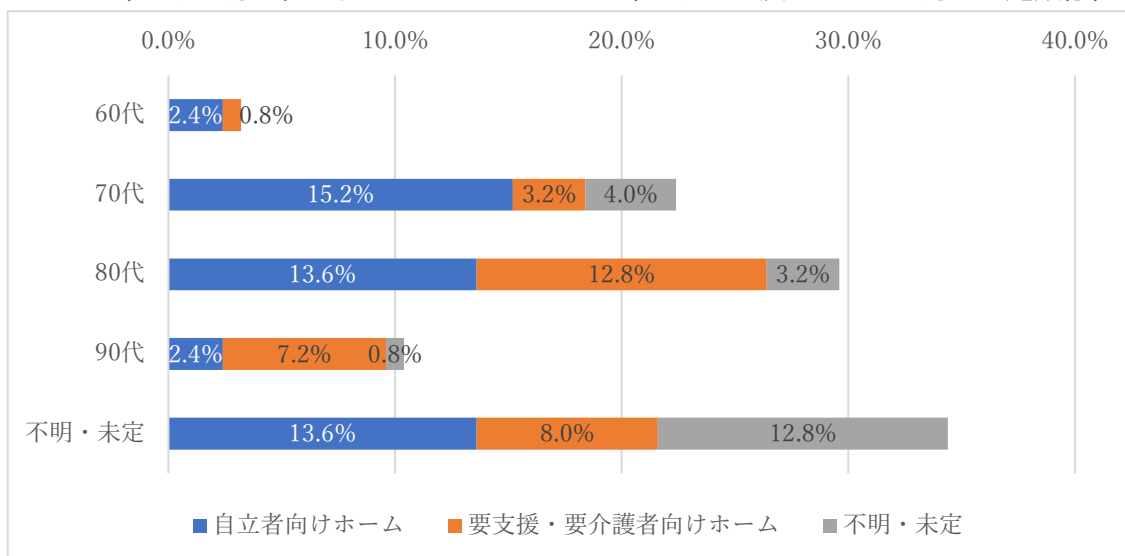
①年代(不明者除く)

60代が5%、70代が35%、80代が45%、90代が15%となっている。厚生労働省の発表による健康寿命の令和元年値は男性が72・68歳、女性は75・38歳となり、健康寿命が延伸するなかで70歳を過ぎて、入居を検討する方が多いことがわかる。



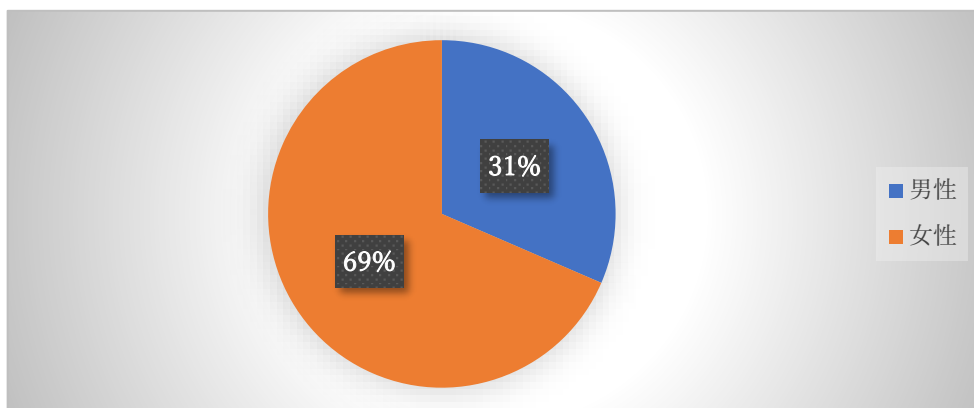
②年代別の希望ホーム

入居検討者の年代別に「自立者向けホーム」と「要支援・要介護者向けホーム」のどちらを希望するのか集計をすると、70～80代にかけて自立者向けホームを希望する方が多く、80～90代は要支援・要介護者向けホームを希望する方が多い。またどちらのホームを希望するか決められない方も一定数存在する。



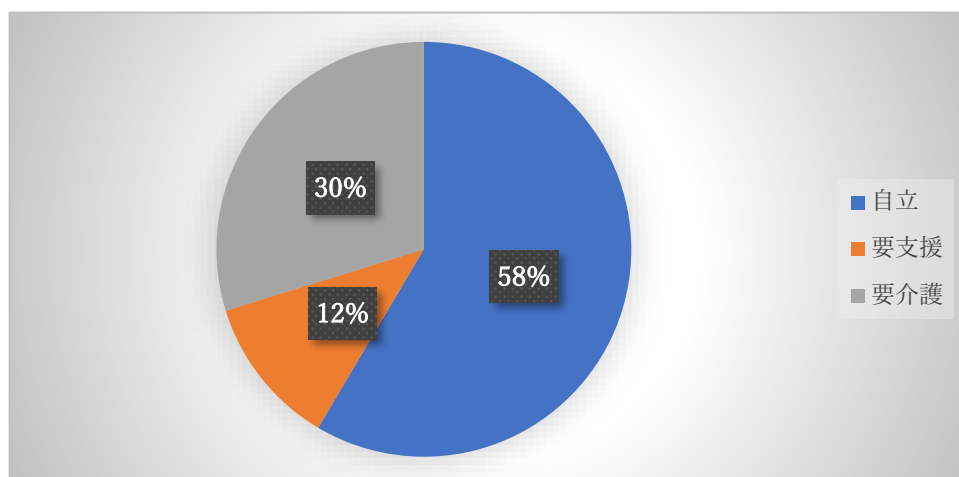
③性別(不明者除く)

入居検討者の性別では女性が69%、男性が31%であった。



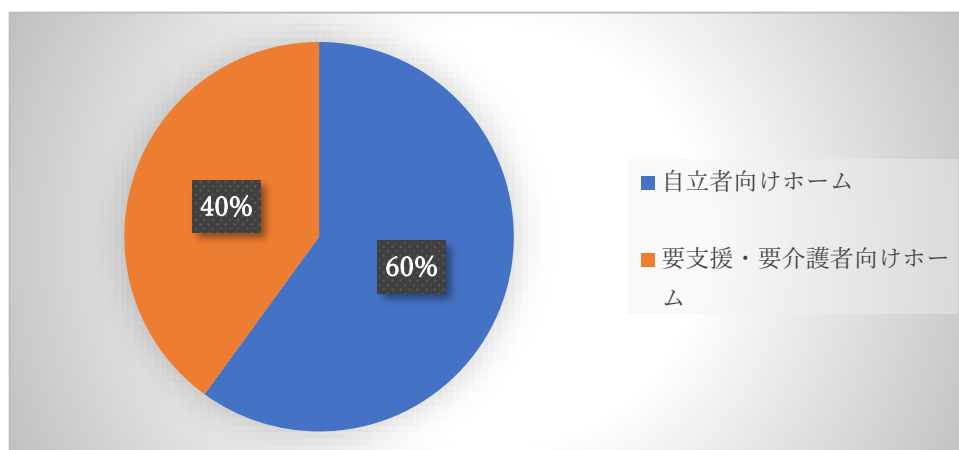
④現在の要介護度(不明者除く)

入居検討者の自立・要支援・要介護の内訳をみると、自立者が58%、要支援者が12%、要介護者が30%である。



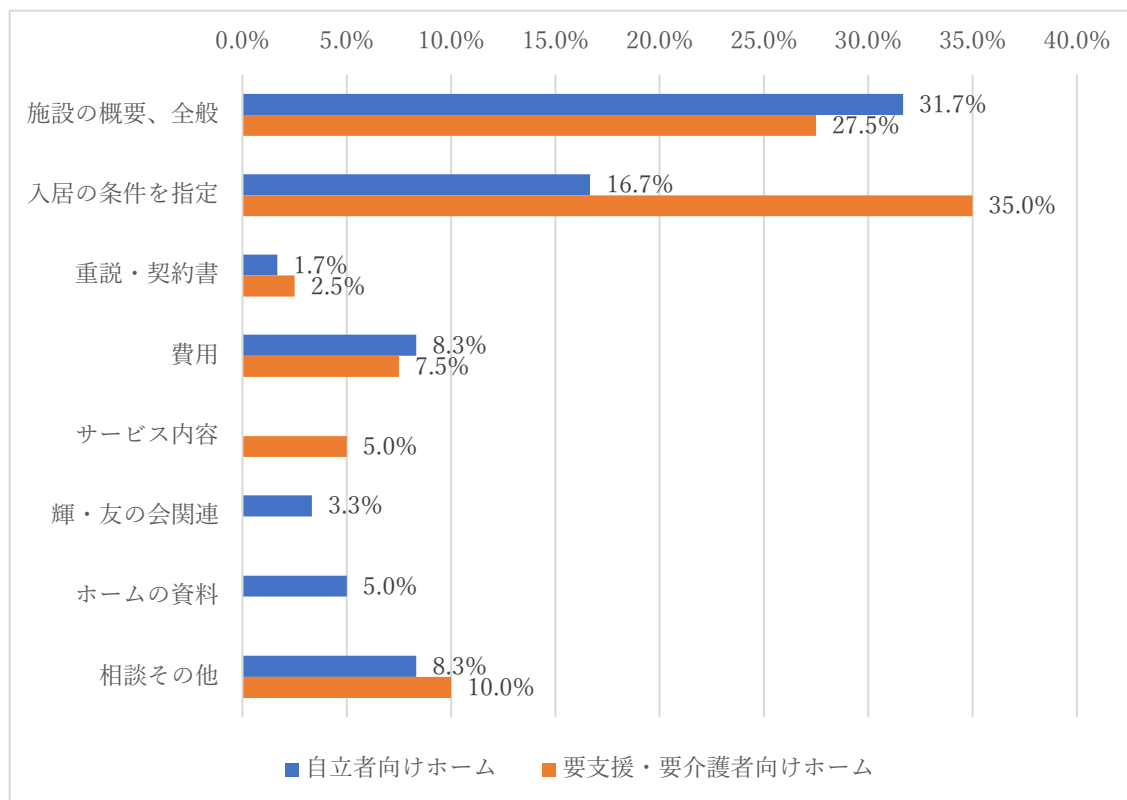
⑤入居を希望するホームの種類(不明者除く)

1 ページ掲載の「1. 相談者について①種別」で入居希望者本人からの相談が61%となっているためか、希望するホームも自立者向けホームを希望する割合が60%を占める。



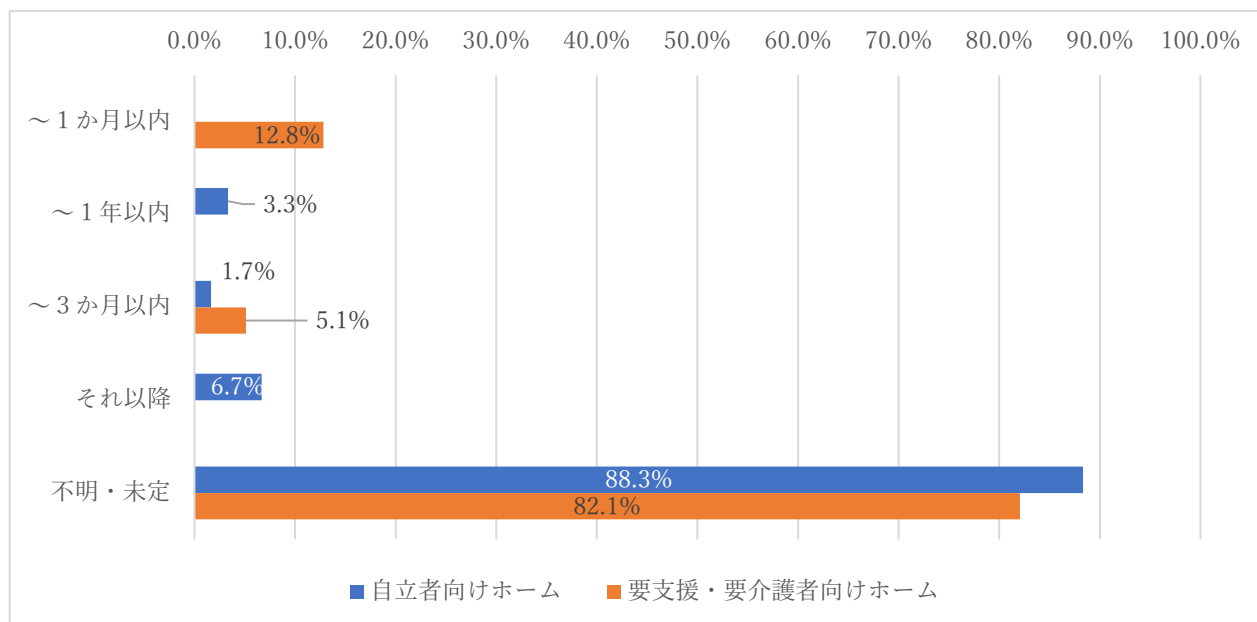
⑥相談内容の分類(複数選択・不明者除く)

主にどんな内容について相談したいのかを「自立者向けホーム」希望者と「要支援・要介護者向けホーム」希望者の別に集計すると、自立者向けホームを希望する場合は、「施設の概要、全般」が31.7%、「具体的な入居条件を指定した上での相談(入居の条件を指定)」が16.7%、要支援・要介護者向けホームの場合は、「具体的な入居条件を指定した上での相談(入居の条件を指定)」が35.0%、「施設の概要、全般」が27.5%となった。



⑦入居予定時期

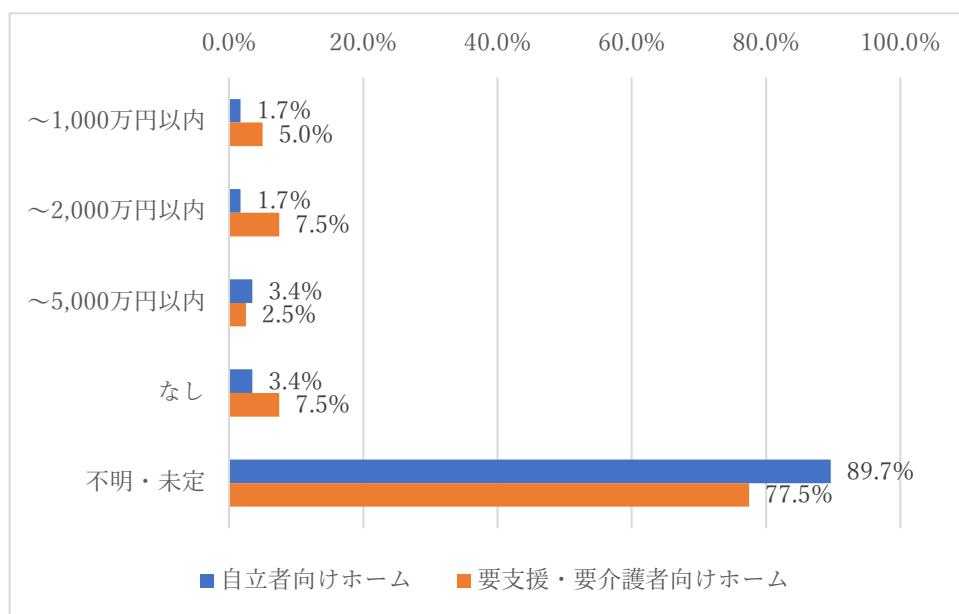
入居予定時期は、自立者向けホーム、要支援・要介護者向けホームを希望している方ともに、不明・未定の方が80%を占めており、具体的な入居予定時期を明確にしている方が少ない。



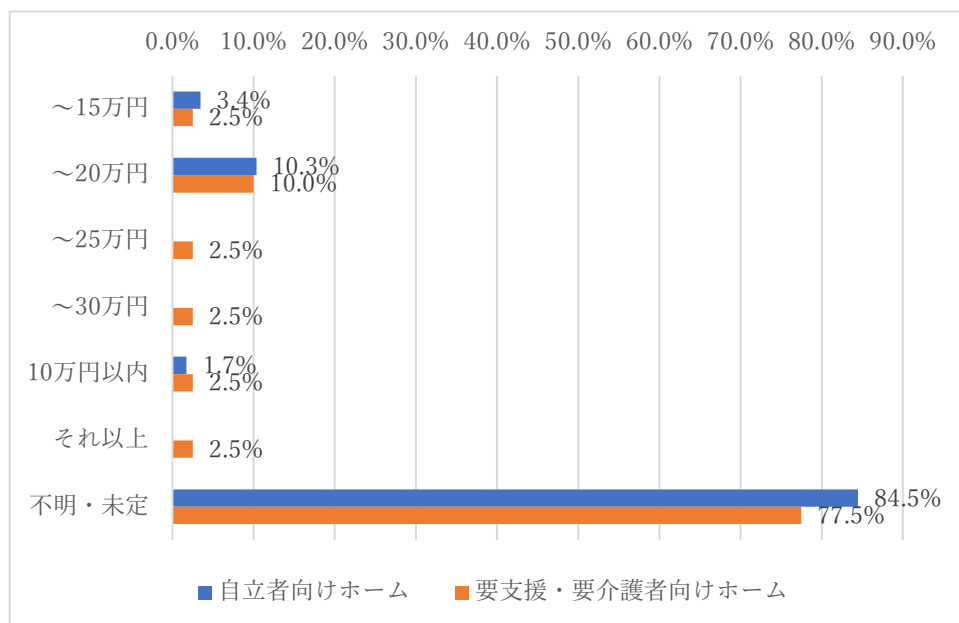
⑧予算(前払金)・(月額費用)

前払金や月額費用の予算については入居予定時期と同様に、約80%の方が具体的な予算について決めていない。

予算(前払金)



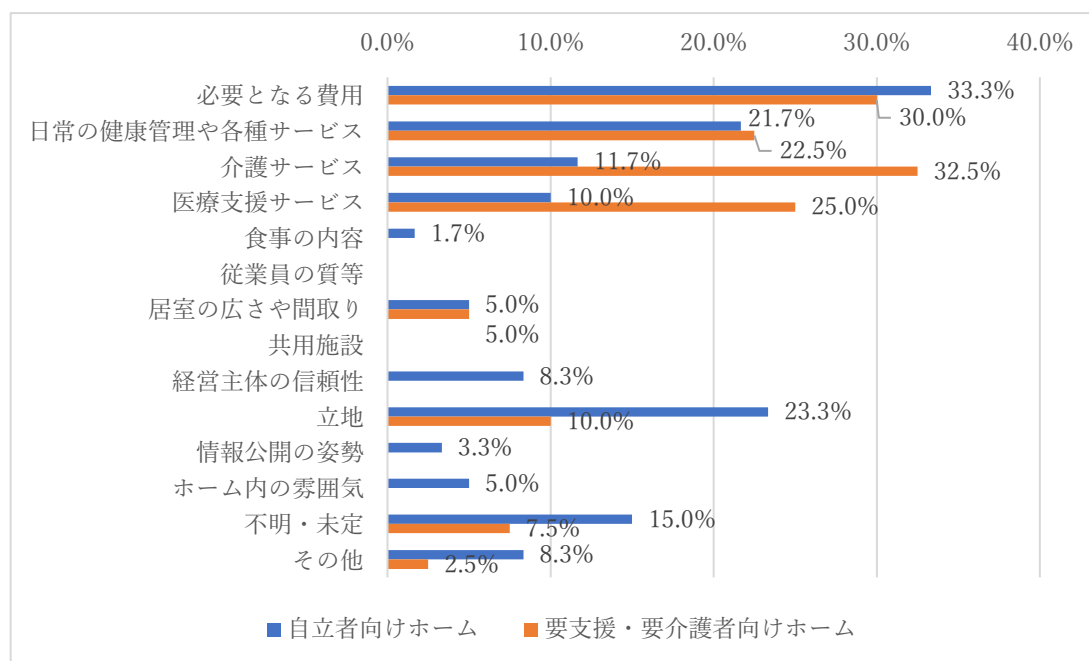
予算(月額費用)



⑨入居にあたって重視するポイント(複数選択)

自立者向けホーム、要支援・要介護者向けホームを希望する方ともに、「必要となる費用(約30%)」と「日常の健康管理や各種サービス(約20%)」を重視する割合が高くなっている。

自立者向けホームを希望する場合はこれに加え、長期間の生活を考慮するためか「立地」を重視しており、要支援・要介護者向けホームを希望する場合は、入居後すぐに必要な「介護サービス」や「医療支援サービス」を重視している。



3. まとめ

今回の相談期間において本協会に相談した方は、自立者・本人からの相談が最も多く約 60%、次に親族からの相談が約 30%だった。

自立者・本人からの相談は、入居することを未だ決めていない段階での相談が多く、有料老人ホームがどのようなところなのか、費用はどれくらいかかるのか等、入り口部分の相談が多い。中にはホームへ入居するメリットは理解していても、なかなか入居に踏み切れない相談者もいて、協会が背中を押してあげるケースもあった。

一方で、親族からの相談のうち約 60%が要介護の親を抱える子供からの相談であり、早期に入居先を決定したいために、入居希望者の年齢や状態、予算、希望する地域等具体的に条件を指定した相談が多かった。

なお、4月から6月の相談者に対し、協会が具体的なホームを紹介したのは54件、その内会員ホームは37件であった(会員ホームの中に、相談者の希望条件に合致するホームがない場合には、非会員ホームを紹介している)。

【相談例】

○80代・女性・要支援1

一人暮らしで、持ち家の売却を考えている。ホーム入居にあたっては、身寄りがないため後見人も必要とのことで、心配事を相談される。

○80代・夫婦・要支援1、要介護1

夫婦で入居を希望しているが、居室は別々の部屋を希望している。居住地近辺でまずは探してみたいのだが、月払いで、入居可能なホームを紹介してほしい。

○70代・女性・自立

元気なうちにホームに住み替えたいが、何をどう調べたらよいのかわからない。

○年齢不明・男性・自立

介護型と住宅型のどちらを選ぶかで迷っているため、アドバイスが欲しい。ホームへの入居にあたって、身元引受人や連帯保証人は必須なのか。親戚に頼みにくいため、困っている。